

米国会計基準設定の再編成 ——ビジネス・ラウンドテーブルの位置をめぐって——	今 福 愛 志	31
On Intra-Industry Trade: Empirical Studies in the Case of Japan and Sweden	HONDA Mitsuo	49
ソ連における経済発展の地域格差	栖 原 学	79
Z理論の動態的要素とその政策含意 ——アルンスペーガー見解の批判的検討を中心に——	北 村 宏 隆	105

第60巻 第4号 (1991年1月)

論 文

戦前日本造船業分析	木 村 隆 俊	1
戦時貯蓄奨励運動と貯蓄組合	岡 田 和 喜	21
1880年代後半におけるイギリス産業動向	本 間 直 行	117
市場調整過程と情報結合	植 木 恒 幸	149
中国の通信支配と日米関係 ——三井・双橋無電台借款とフェデラル借款をめぐって——	須 永 徳 武	157

研究ノート

アメリカにおける従業員持株制度の今日的意義と課題	廣 井 孝	189
--------------------------	-------	-----

第61巻 第1号 (1991年4月)

論 文

日米構造協議と我が国の流通	伊 東 允 博	1
Problems of the Elderly in Japan: A Comparison with European Countries	FURUYA Kenichi	21
Exchange Rate Expectations and the Term Structure of Interest Rates	YOKOKAWA Kazuo	45

研究ノート

カリフォルニアにおける全州的支店銀行制の初期の発展	春 田 素 夫	57
米国における「実質的デフレーション」の会計処理基準	佐 藤 信 彦	87

第61巻 第2号 (1991年7月)

論 文

国際マーケティングについての若干の考察 ——グローバル・マーケティングを焦点として——	三 浦 一	1
協同組合原則の改訂と基本的価値	中 込 賢 明	25

レイヨンフーズのマクロ分析再評価の一視点 ——Z理論の動態的要素から——	北村宏隆	39
合衆国南部棉作地帯の経済〈改革〉をめぐって ——1850年代を中心として——	上村能弘	57

第61巻 第3号 (1991年10月)

論文

1920年代日本電力産業分析	木村隆俊	1
駿東貯蓄銀行と貯蓄預金	岡田和喜	25
レオンティエフ動学体系の森嶋モデルについて	本間祥介	73
J.R. コモンズとトマス・ロバート・マルサス	齋藤宏之	83
合衆国の貿易における委託荷販売制度から新たな貿易金融の態勢へ ——委託荷販売制度と連結していた棉花ファクター制度の衰退を理解するた めに——	上村能弘	95

書評

入江節次郎著『世界金融史研究』	森恒夫	120
-----------------	-----	-----

第61巻 第4号 (1992年1月)

田中稔博士 定年退職記念号

献辞	竹内一樹	i
田中先生と私	安田原三	iii
略歴・著作目録		iv

論文

日本の食料生産・消費および価格の動向	阿部喜三	1
金融自由化の一視点	安田原三	25
貨幣経済分析の一展望	中山靖夫	37
「経済のサービス化」と「東京」の役割 ——「集中」から分散へ——	齋藤重雄	51
Theoretical Aspects of Exchange Rate Uncertain and Optimum Choice of Internationally Traded Nominal Assets	横川和男	79
W.C. ミッチェルとジェレミー・ベントム	齋藤宏之	105

第62巻 第1号 (1992年4月)

論文

1920年代日本電機工業分析	木村隆俊	1
----------------	------	---

会計規制と退職者医療給付のコスト・シェアリング

——米国企業の退職者医療プランへの会計基準106号の影響分析——	今 福 愛 志	13
技術進歩におけるハロッド中立性の持続性	本 間 祥 介	35
南北戦争期の棉花経済とファクター制度	上 村 能 弘	43

研究ノート

21世紀に向けて英国保守党の目指すもの

——技術革新と雇用——	水 村 光 一	65
労働価値論再考		
——バーム＝バヴェルク・ヒルファディング論争——	鈴 木 明	89

第62巻 第2号 (1992年7月)

論 文

鉱工業生産と景気循環	阿 部 喜 三	1
『中央銀行会通信録』と不動産金融改善問題	岡 田 和 喜	19
Common Features in the Meiji Restoration and the French Revolution		
.....	KOBAYASHI Yoshiaki	49

棉花ファクター制度の衰退

——南北戦争後の時期を中心として——	上 村 能 弘	75
--------------------	---------	----

書 評

今福愛志著『会計政策の現在』	大 塚 成 男	99
----------------	---------	----

第62巻 第3号 (1992年10月)

中込賢明教授 定年退職記念号

献辞	竹 内 一 樹	i
略歴・著作目録		iii

論 文

1920年代日本工作機械工業の関税	木 村 隆 俊	1
小売マーケティング研究序説	三 浦 一	13
W. C. ミッチェルとデイヴィッド・リカード	齋 藤 宏 之	27

研究ノート

カルドア型景気循環と資産効果	北 村 宏 隆	43
----------------	---------	----

第62巻 第4号 (1993年1月)

鈴木喬教授 定年退職記念号

献辞	竹 内 一 樹	i
略歴・研究業績		iii

論 文

W. C. ミッチェルとリカード経済学……………	佐々木 晃	1
サービス労働価値生産説の一論拠		
——飯盛信男氏の見解をめぐって——……………	斎藤重雄	15
フランス絶対主義における高等法院貴族……………	小林良彰	35
W. C. ミッチェルと経済科学		
——エイブラハム・ハーシュの所説をめぐって——……………	塚本隆夫	49
福祉国家の生成に関する史的考察		
——第一次大戦以前のドイツとイギリスを中心として——……………	小 椰 治 宣	65
ファジィ的発想と日本の生活文化……………	高 須 裕 三	79
資 料		
『不動産侵奪罪』（刑法第235条の2）に関する立法の背景と学説の対立……………	田 中 啓 一	93

第63巻 第1号（1993年4月）

上杉栄市教授 追悼号

追悼の辞：故上杉栄市教授を偲んで……………	竹 内 一 樹	i
故上杉栄市教授を偲ぶ……………	大 淵 三 洋	iii
略歴・研究業績……………		iv
論 文		
戦略的小売マーケティングの展開……………	三 浦 一	1
日本の財政と経済政策……………	阿 部 喜 三	19
国と地方の財政関係と民主的改革……………	片 桐 昭 泰	53
サービス論争の前提的問題		
——金子ハルオ氏の反論に寄せて——……………	斎藤重雄	61
新首都建設の条件……………	田 中 啓 一	83
年金会計基準のディスクロージャー		
——その構成と機能——……………	今 福 愛 志	109

第63巻 第2号（1993年7月）

小林巧教授 定年退職記念号

献辞……………	竹 内 一 樹	i
略歴・研究業績……………		iii
婦人労働45年……………	小 林 巧	iv
論 文		
1920年代日本硫安工業の株式会社制度……………	木 村 隆 俊	15
不況下の雇用・賃金・労働時間……………	牧 野 富 夫	37
90年代の日本経済と21世紀経営戦略……………	川 島 陸 夫	49

研究ノート

戦間期工業構成の変化と格差構造

——1920年代の産業構造の諸特徴——	草 原 光 明	61
ホワイトカラーの労働時間問題	木 暮 雅 夫	69

第63巻 第3号 (1993年10月)

伊東博徳教授 追悼号

追悼の辞：故伊東博徳教授を偲んで	竹 内 一 樹	i
故伊東博徳教授の学風を偲んで	三 浦 一	iii
略歴・研究業績		iv

論 文

レイヨンフープドのIS-LM 批判考

——何がなぜ問題なのか？——	北 村 宏 隆	1
1880年代後半におけるイギリス金融動向	本 間 直 行	21
W. C. ミッチェルとジョン・スチュアート・ミル	齋 藤 宏 之	57
R&D 支出の競争均衡とその経済厚生に関する一考察		
—— Dasgupta and Stiglitz モデルを中心として——	有 馬 守 康	69

資 料

イタリアの年金制度改革

—— EC 経済・通貨統合に備えて——	藤 井 盛 夫	85
---------------------	---------	----

第63巻 第4号 (1994年1月)

阿部喜三教授 定年退職記念号

献辞	竹 内 一 樹	i
略歴・研究業績		iii

論 文

ソースタイン・ヴェブレンとヘーゲル弁証法

——ジョン・S・ギャムズの見解について——	佐々木 晃	1
高齢者の雇用問題	降 矢 憲 一	15
米国における退職後医療給付の会計基準106号の帰結		
——会計基準をめぐる評価のネットワークの形成——	今 福 愛 志	59
国際競争力の変化と日本の貿易構造	本 多 光 雄	77
国際海上物品運送法の改正と改訂 JIFFA MT B/L		
——運送人責任の増加について——	小 林 晃	95
フランス絶対主義における法服貴族の役割	小 林 良 彰	127
U. S. スティール社の損益計算書作成実務		
——設立から1935年までを中心にして——	佐 藤 信 彦	145

研究ノート

ソースタイン・ヴェブレンと重農主義

——ヴェブレンの「精霊論」批判を中心に——……………塚本隆夫 163

第64巻 第1号 (1994年4月)

論 文

1920年代植民地台湾糖業分析……………木村隆俊 1

リカードの「機械」問題……………本間祥介 19

イギリスにおける職域年金制度と年金会計基準の相互作用

——年金会計基準の政治経済学序説——……………今福愛志 27

フランス革命前夜の財政問題……………小林良彰 47

20世紀初頭の世界経済……………本間直行 65

Effective Protection by Tariffs and Indirect Taxes in Post-WWII Japan……………横川和男 83

W. C. ミッチェルのウィリアム・スタンレー・ジェヴォンズ批判……………齋藤宏之 101

ドイツにおける医療保障制度

——その現状と課題——……………小柳治宣 123

資 料

EC域内市場統合：イタリアの実施状況(十訂版)……………藤井盛夫 139

佐々木晃教授 定年退職記念

献辞……………竹内一樹 163

略歴・研究業績……………165

第64巻 第2号 (1994年7月)

論 文

帝国主義段階「移行論」をめぐって……………木村隆俊 1

社会保障制度の形成に関する史的考察……………小柳治宣 13

規制緩和と経済構造改革……………阿部喜三 25

日本農業の性格

——エントロピー視点から見た農業——……………内藤勝 55

研究ノート

確定額払い借入金の会計測定

——L. ローレンセンの所説を中心に——……………佐藤信彦 97

第64巻 第3号 (1994年10月)

日本大学経済学部創設九十周年記念論文集

第I部 経済学

経済理論部門

論 文

売上高最大化企業の投入要素需要	近江谷 幸一	1
گرانモンの効率賃金仮説批判について	北村 宏隆	7
「経済のサービス化」に関する見解の検討		
——平野泰朗氏の見解を中心に——	斎藤 重雄	19
W.C. ミッチェルのフランク・A・フェッター批判	齋藤 宏之	31
最近の消費者均衡理論の1課題		
——非線形機会集合をめぐる——	瀬古 美喜	43
経済発展とインフォーマル・セクター論の展開	辻 忠博	51
有効需要理論における「貨幣」の役割について	中村 貢	63
慣行均衡と貨幣	中山 靖夫	71
貨幣の生成	原 亨	81
回廊仮説におけるバッファーストック		
——数量制約型不均衡モデルを中心に——	藤本 訓利	95
拡大再生産表式と景気循環	本間 祥介	107
1980年代の世界貿易	本間 直行	117
Factor Content of International Trade in Post-WWII Japan	横川 和男	131

経済政策部門

論 文

第一次世界大戦後の貯蓄奨励政策と貯蓄組合		
——内務省社会局『勤儉奨励運動概況』(1927年3月)より——	岡田 和喜	143
第一子出生間隔に関する計量分析	小川 直宏	173
ドイツにおける公的介護保険の成立	小柳 治宣	185
国際経済秩序に関する試論	加藤 義喜	197
日・米・独の企業金融システムの比較	黒沢 義孝	209
中国の食糧需給	小島 淑男	219
「市場社会主義論」再考		
——1980年代「第3波」経済改革回顧——	佐藤 経明	231
ソ連の固定資本年齢再考	栖原 学	253
転換期を迎えた都市行政と都市財政	田中 啓一	267
農村地域再構築の課題		
——南東北・中山間地域を例として——	馬場 昭	275

デリバティブ小考			
——アメリカを念頭に——	春田素夫	295	
日本型下請生産構造と経済民主主義			
——問題性・効率性と閉鎖性・普遍性——	福島久一	309	
EC市場統合			
——イタリアの対応——	藤井盛夫	321	
労働時間短縮をめぐる諸問題	降矢憲一	331	
今日の雇用問題について	牧野富夫	345	
戦時下における農業政策と柑橘作の地域的展開について	松村祝男	355	
規制と規制緩和の意味するもの			
——その考え方と問題点——	三宅忠和	375	
農協における協同組織金融の課題	安田原三	385	

経済史部門

論 文			
フランス革命における土地改革	小林良彰	395	
ヨーロッパ列強の対外膨張とオスマン帝国			
——帝国主義的膨張とは何か——	野口建彦	413	

第64巻 第4号 (1995年1月)

日本大学経済学部創設九十周年記念論文集

第II部 商学・経営学・会計学・方角・情報科学

商学部門

論 文			
航空運送用トレード・タームスについて			
——FOB Airportと1990年インコタームスFree Carrierとの関連で——	小林晃	1	

経営学部門

論 文			
本社業務の改善と考え方	石山伍夫	19	
日本労務管理の現代的課題	岩出博	29	
90年代の経営戦略について			
——その考え方と問題点——	川島陸夫	39	
コーポレート・ガバナンス論における問題の分析			
——国際比較の視点——	菊池敏夫	47	
企業における資金調達方法の変化			
——他人資本による資金調達に関して——	杉本文雄	57	
国際石油企業とリビア	竹内一樹	69	

産業・組織心理学の黎明期	馬場昌雄	83
生活体理論の生成と組織の再編成	廣井孝	95
財務的意思決定に与える租税の影響		
——正味現在価値法との関連において——	室本誠二	105

会計学部門

論文

外部監査環境要因と固有リスクの評価	青柳清	115
年金基金の余剰額と年金負債の評価問題		
——カナダ年金会計基準の焦点——	今福愛志	131
FASBによる収益費用利益観・資産負債利益観と損益法・財産法	佐藤信彦	141
金融派生商品の会計	田中建二	149
外貨建取引の理論上の換算基準		
——直物レートと先物レート——	森田哲彌	161
政府機関のプログラム原価の許容可能性に関する決定	山口達良	173

法学部門

論文

憲法第9条：歪められた解釈		
——マスコミ・学界等への苦言を呈しつつ——	粕谷進	185
租税政策手段としての租税特別措置とその法的統制	中村芳昭	197

情報科学部門

論文

コンピュータ教育の変遷と背景	谷口映子	221
運動特徴モデルのための動作記述法	寺沢幹雄	231
曲がった針と平行線の交点数の分布	増田賢司	241

第65巻 第1号 (1995年4月)

内藤英憲教授 定年退職記念号

内藤英憲教授の退職に寄せて	竹内一樹	i
略歴・研究業績		iii
論文		
生活文化とくに生活宗教の一研究	高須裕三	1
ソースタイン・ヴェブレンと制度変化の諸過程		
——マルカム・ラザフォードの見解について——	佐々木晃	11
企業家セクターの意義	清成忠男	25

イギリスの企業構造と中小・零細企業の位置 ——1970年以後の統計的分析——	福島久一	33
選好が確率的である場合の消費者均衡理論 ——非線形機会集合を考慮して——	瀬古美喜	65
W. C. ミッチェルの T. R. マルサス『人口の原理』批判 ——その学史研究の手法をめぐって——	塚本隆夫	73
The Conditions of Successful Rural Financial Institution: The Case of the Grameen Bank in Bangladesh	辻忠博	89
R&D 活動の協調可能性に関する一考察 ——Lee and Wilde モデル再考——	有馬守康	109
研究ノート		
企業年金をめぐる引当金方式と積立方式の再検討 ——ドイツ年金会計制度における会計と財務——	今福愛志	117
米国における環境負債会計	佐藤信彦	131

第65巻 第2号 (1995年7月)

論文

イギリス製造業における中小企業の構造と展開 ——1970年以降の統計的分析——	福島久一	1
現代情報のサービスの性格 ——飯盛信男氏の見解を中心に——	斎藤重雄	37
Industrial Structure and Organization in China's Northeast Region: Character- istics and Problems	三宅忠和	57
取引簿の市場の外部性と協調失敗	北村宏隆	73
資料		
人の自由移動：シェンゲン協定について	藤井盛夫	91

第65巻 第3号 (1995年10月)

論文

経済統合と通貨価値安定	横川和男	1
オーストラリアにおける労使関係の変化 ——雇用構造の変化を中心に——	木暮雅夫	15
日本農法と経営形態の考察 ——昭和36年～60年代における農業政策の再検討——	内藤勝	31
研究ノート		
環境政策における経済的側面	高樋さち子	85

資 料

金融商品会計に関する日韓の実態調査…………… 李 善 馥 95

第65巻 第4号 (1996年1月)

三浦一教授 定年退職記念号

三浦一教授の定年退職に寄せて…………… 竹 内 一 樹 i
 三浦一教授の履歴と研究業績…………… iii

論 文

消費者の空間行動

——地理学の視点から——…………… 佐 藤 俊 雄 1
 商品の物神性と貨幣…………… 原 亨 17
 企業行動と倫理的価値…………… 菊 池 敏 夫 27
 第一次世界大戦後の貯蓄奨励政策と貯蓄組合 (補論)
 ——神奈川県における事例紹介と若干の分析——…………… 岡 田 和 喜 37
 協同組合としての信用組合…………… 安 田 原 三 49
 起債増加の影響要因について…………… 室 本 誠 二 59
 年金会計をめぐる国際的争点
 ——国際会計基準『討議資料退職給付コスト』(1995年)の検討——…………… 今 福 愛 志 75
 会計のグリーン化と環境管理監査の役割…………… 青 柳 清 85
 経営計数からみたわが国金融機関の現状分析…………… 杉 本 文 雄 107
 阪神大震災に起因する損傷貨物と適切なトレード・タームズの選択について
 ——運送人責任, 海上保険との関連で——…………… 小 林 晃 133
 教育機関における政府契約原価の計算…………… 山 口 達 良 163
 米国貯蓄貸付組合の経営危機と会計問題…………… 田 中 建 二 175
 経営組織における「集団」の位相…………… 廣 井 孝 189
 W. C. ミッチェルのアルフレッド・マーシャル批判…………… 齋 藤 宏 之 203
 研究ノート
 東独におけるKfWの役割とその効果…………… 野 田 裕 康 221
 中国西藏地区における伝統的な農業経済及びその民主改革の過程…………… 賈 京 249
 書 評
 上村能弘著『合衆国の棉花金融史研究』…………… 楠 井 敏 朗 265

第66巻 第1号 (1996年4月)

論 文

日本の「雇用システム」について
 ——その変化をどうみるか——…………… 牧 野 富 夫 1